

'65. 3.

No. 20

発行 三股町  
編集 総務課

# 広報ひまわり

## 餅原簡易駅

が三月末に完成

四月より営業開始

大正三年

日豊線開通より

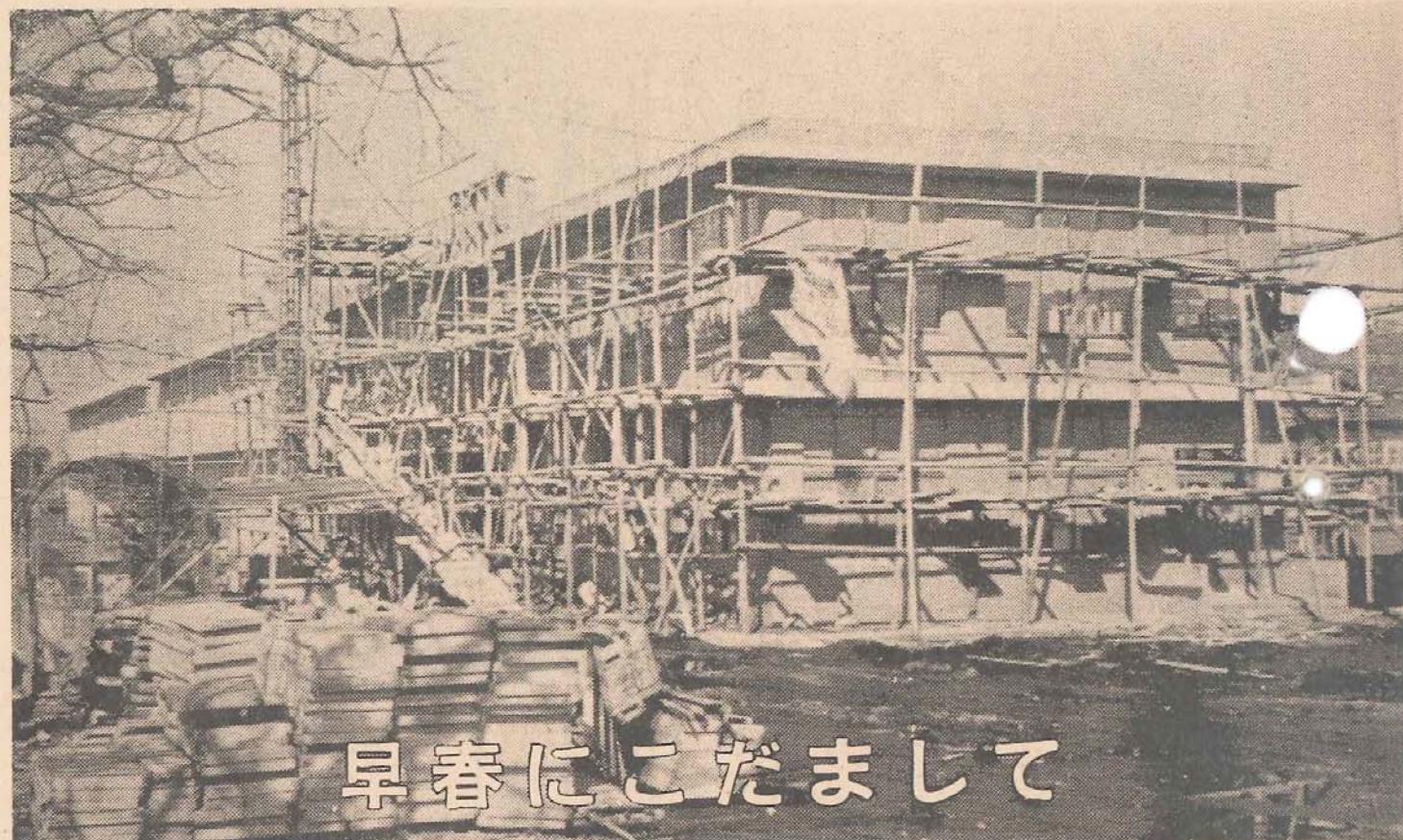
すでに五一年

「汽笛一声新橋を、はや我が

汽車はなれたり」文明開花の明治の御代よりしば

しおくれて、私達の郷土を  
通する日豊本線は大正三年  
に開通しております。

「馬がたまがいかい仕事  
にならんとじやあんめか  
い」とか「でかんが汽車ば  
つかい見ちよれば仕事がさ  
ばけんじやろう」などと今  
にして思えばこつけいで  
も当時としては相当真剣に



早春にこだまして

## 三股小鉄筋化・完成近し

三股町内の危険校舎は戦後10年にして、そのほとんどが解消し、ひとり三股小学校のみが戦前の古校舎にて、その危険と不便をしのいでおりましたが、昭和33年に先ず6教室(196坪)が鉄筋化され、ついで昭和38年に10教室(320坪)が、そして今

回、更に3教室、6管理室の252坪が工事費1,789万円をもって、去る10月、渕脇組の手によって着工され、目下3月末完成をめざして、そのひびきも高く工事は急ピッチで進められております。

反対の声もあつたそうです。  
しかし当時の村長であつた野崎重則氏等が中心になつて山之口村と一体となつて鉄道布設の猛運動を開催し、当初有力だった高城通

以来今日まで五一年間私達の郷土は鉄道の恩恵に浴しながら、鉄道と共に発展の歴史をたどつております。

### 昭和三七年以來の 簡易駅設置猛運動遂にみのる

餅原部落は三股駅、山之口駅のほど中間点にあり、部落の中央を鉄道が通り抜け、やたらと踏切りのみ多く、その事故防止に頭をいためており、昼夜に亘つて

汽車の轟音はこだますれど乗る汽車でなく、見る汽車であるとその不便をかこつておりました。そこで見る汽車をなんとかして乗る汽車にしようとした昭和三七年以來この方、町

と地域住民が一体となつて簡易駅設置の猛運動を続けておりましたが、その切ながる願いと努力が逐にみのり餅原簡易駅設置が決定したものです。

地元においては三股、山之口を含めた餅原簡易駅建設協力会が発足し、その全面的な協力体制のもとに建設工事が進められておりましたが三月末には完成、四月一日より営業開始のはこびになつております。

### やがて

#### 普通駅昇格に

この餅原簡易駅の利用人口は勝岡小学校区域、山之口町の一部を入れて約五千人(一千戸)が推定されており、更には高城町横手、桜木地域を含めてその利用率は非常に高いものが予想され、やがては普通駅昇格もそう遠くはないものと期待がもたれております。

春の全国火災予防運動  
二月二八日～三月一三日

## 二級国道指宿、宮崎線

## 蓼池部落内舗装完了



中央通り蓼池

都市市の市街地から郡元を抜けて前原、蓼池に通する路線を指宿、宮崎線と言つております。

この路線は従来県道でありましたが昭和三八年四月二級国道に昇格、着々その改良化が進められておりました。蓼池部落内においては昭和三八年に巾員六・五メートルが八・五メートルに拡張なり、ついで昭和三九年一〇月より

工事費八〇〇万円をもって吉原組の手によつてその舗装工事を進めておりました

この舗装完了によって蓼池部落内は見違えるように一変し、いかにも明るく豊かなあか抜けた感じがして、道ゆく人の顔も明るさが増し、走る車もスピード的に、すべてに活気が感じました。

### 農機具格納庫が 三股駅西側に

三股町農機具利用組合においては大型農機具の管理の万全を図るために農業構造改善補助事業として、三股駅西側に工事費五三九万円をもつて鉄骨ブロック造り、平屋建四〇五平方メートル

農機具格納庫を松元組の手によって新築中であります。これが三股町の農業は更に一步進んで集団栽培の方向に進みつつある時、農用機械の需要に応える体制を固めています。

私達の三股町に於いても家庭に變つて機械のうなりがとつて變つてあります。このようにして私達が毎月掛ける簡易保険の掛金は直接私達の家庭を明るくすると共に、住みよい私達の町づくりにも役立っております。

建設事業年金額	
公	保
建設費	被保険者
受取	支給

この建設費は昭和37年度の建设事業年金額です。  
この建設費は昭和37年度の建设事業年金額です。

通知書が発行されてからはおそすぎます  
からにはなるべきだ。されど、この建設費は昭和37年度の建设事業年金額です。この建设費は昭和37年度の建设事業年金額です。



中川原橋工事現場

## 中川原橋の

## 架替工事は進む

湯矢ヶ淵下流沖水川（本流）と細目川の合流点附近の広範な田園地帯に梶山部落より通ずる中川原橋は唯二級農道橋としてその利用度は大変高いものがありましたが、しかしその老朽化と度重なる台風、豪雨の被害により通行にも危険な状態になりました。

地元においては早くからその架替えが要望されておりました。

### 股警察官派出所が北側に移転しました

今まで駅前にあった警察官派出所が町営住宅樋堀団地の近くに都道三道路に新築されました。この派出所は昭和二三年本町の町制施行と時を同じくして從來の巡査派出所から部長一人

人がやっと通れる路から巾員四米の農道に早変わり

内木場においては畑地のほとんどが標高五〇〇メートルの高台にあり、耕作者は毎年肥料や農作物を人の背中で搬出してこの地理的にも地形的にも恵まれない悪条件に人知れぬ苦労をしておりました。この程度部落民

今まで人がやっと通れるくらいの細道が巾員四メートル、延長八〇〇メートルにわたって素晴らしい農道が出来上りました。この農道は事業費約六二万円、県単闇整備事業として昨年十一月に着工、この

工程完成、受益者は達は、地元の念願がかなつたと大喜びでした。

私の社会観、教育観①  
北野実則

## ◇まかぬ種が生える◇

「まかぬ種は生えぬ」と言われておりますが、こんなことを全面的にうみにするよう農民は一人もおりません。

稻も草であり、雑草も勿論草であります。が、同じ草でありながら、また種が生えなかつたりません。かねが生えるので農民はどんなに悩まされていいることでしょう。

昨日、多数相寄つて盛大に行なわれましたが喜びの都城警察署長は「町民の皆さん方の協力を唯一のバックとして青少年の健全育成、交通安全、暴力の追放、この三つの任務を大きな柱としてこの新らしい派出所で新らしい気持で治安維持の任務を全うしたい」とその決意のほどを語つておりました。

世の中のすべてが「まかぬ種は生えぬ」の公式どおりに行くならば、無実の罪であったら一生を棒にふった石松老のごとき人も無く、農業も又、楽なものでありましょうが、「まいた種が生えず

ります。最もまた大豆の発芽が悪くて再度まき直したにがい経験をもつております。しかし、まかぬひえが生えて困るのは毎年のことであ

ります。

あります。が、その「なす」ということが大変至難の業であります。でもむつかしいからといってこれをほおつておくわけにはゆきません。

先覚者は「草を見て草を取らない」人を下農と

言わされました。

